



市史へんさん

第 267 号

令和 3 年 6 月 1 日

小松市史編纂担当

へんさんだより

当市の産業を支える「コマツ(株)小松製作所」が、先月 13 日に創業 100 年を迎えました。これに先立ちコマツ発祥の地である鶴川町の遊泉寺銅山跡に、銅山の遺構を活かし、「遊泉寺銅山ものがたりパーク」が 8 日に完成しました。この式典に当たり、事業の実行委員長である西正次商工会議所会頭が「小松のものづくり、人づくりの礎を築いた地として、様々な方がその物語を語り合い、次世代へと継承してもらいたい。」とご挨拶され、宮橋勝栄市長が「市の学びの拠点、産業交流の場として、地域の活性化につながることを期待したい。」と祝辞を贈られた。前年開館の「里山みらい館」とともに、また新たな地域交流の拠点としての活用を願っています。

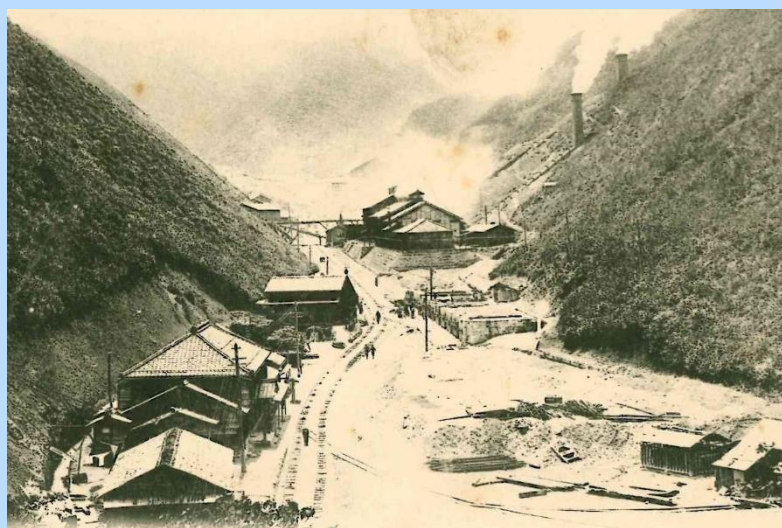
史料に見るコマツの産業史



『新修 小松市史』でも、遊泉寺銅山の開坑史料は『資料編 13 近世村方』で、明治・大正期の産業の要となった最盛期の史料は『資料編 14 産業編』で大きく取り上げ、コマツの変遷も写真で紹介している。今一度、その歴史について振り返ってみよう。

遊泉寺銅山は、金沢市立玉川図書館所蔵加越能文庫の「金平村遊泉寺鍋谷村金山濫觴」によれば、安永 5 年(1776)に、能美郡沢村の石黒源次らが、採掘の許可を加賀藩に願い出ている。その後天明 5 年(1785)から休山するも、文政 3 年(1820)に藩直営の銅山として再開する。しかし、経営権は藩と住民とで交互し、明治維新後も安定せず、鉱業権は転々と譲渡された。

経営が近代化して拡張したのは、土佐(高知県)出身の竹内綱が明治 35 年(1902)に鉱山権を買収した以後である。



遊泉寺銅山製錬所遠望(右上の煙突の一本は現在も残る)『産業編』より

竹内綱は、コマツの創始者である竹内明太郎及び戦後首相となる吉田茂の父である。その後の経営は明太郎が当たり、鉱山用電力の必要から、鳥越村に神子清水発電所を建設し、さらに、欧米の最新技術も取り入れ、遊泉寺は鉱山町として賑わった。その最盛期は明治 40 年代で、明治 44 年には銅産出高が全国 12 位にまで上昇した。町には小学校や医局が設けられ、小松町からの軽便鉄道も敷設された。

一方、明太郎は機械工業に着目し、鉱山用機械の製作を目的として小松鉄工所を設立して、工業力を蓄えた。折しも第一次世界大戦後の不況で、銅山は経営危機に直面し、大正 9 年(1920)に閉山した。



小松製作所粟津工場 昭和 24 年(1949)撮影

しかし、銅山経営から独立した小松鉄工所は、大正 10 年に小松製作所となり、さらに経営の拡張を図り、昭和 13 年(1938)に農業用・鉱山用機械増設のために粟津工場を新設した。技術開発に力を入れ、日本で初めてのブルドーザーを製造。その後、モーターグレーダー、フォークリフト、ダンプトラックなどを次々と生産、重機製造に重点を置いた。こうして現在の世界的な建機メーカーのコマツへとつながっていった。

『新修 小松市史 資料編 17 考古』第6章「律令と地方支配」の見どころ

第6章では、古代(飛鳥・奈良・平安時代)の遺跡を紹介する。古代は、飛鳥、奈良、京都に都が置かれ、天皇を頂点とする中央集権国家によって支配された時代である。当市を含む南加賀地域は、それまで越前国江沼郡に属していたが、越前国の国府が遠く、往還に不便であったため、弘仁14年(823)に、越前国の加賀・江沼両郡を割いて**加賀国**を立国し、郡の北半が能美郡として、ここに加賀国府が置かれた。その場所は、当市古府町と推測されているが、この『考古編』では、「加賀国府関連遺跡」の中で、十九堂山遺跡など関連遺跡を紹介しながらその所在地について切り込んでいく。

また、7世紀後半に突如として月津台地に出現した三湖台集落遺跡群に注目する。この遺跡群は、製鉄や製陶などの手工業生産に生業を置く集落であり、竪穴住居に付設するL字型竈や出土する移民系土師器の形態から、朝鮮系移民を軸とする移民集落群と位置付けている。政治的にも移民を軸にした集落として注目する。

当遺跡群の渦を挟んだ東側丘陵には、7世紀以降に生産を活発化させる南加賀製陶遺跡群と当期に砂鉄製錬を開始する南加賀製鉄遺跡群が広く分布する。製陶遺跡群は5世紀末から操業を始めるが、7世紀に新たな技術を取り入れて、生産拡大しており、7世紀後半から8世紀へと製鉄も合わせ、更なる生産拡大を図る。製陶は10世紀中頃まで、製鉄は12世紀まで操業する北陸最大規模の古代手工業地帯であり、三湖台集落遺跡群を製陶製鉄遺跡群の母体集落として一体的に経営されたと論及している。



南加賀製陶遺跡群(戸津支群C調査区全景) 市埋蔵文化財センター提供

<5月の活動状況>

- ・5月6・14・21日 通史編近現代関係資料調査
- ・5月7日(金) 通史(近世)編内容構成打合せ
- ・5月30日(日) 通史(近世)部会

<6月の活動予定>

- ・6月6日(日) 通史(原始・古代)部会(オンライン)
- ・6月23日(水) 通史(中世)部会



<6月のカレンダー> 開室時間 10:00~12:30/14:00~16:00(火~土)

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
5/30	5/31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	7/1	7/2/	7/3

* は閉室しています。開室時間は、図書館の開館時間に合わせてあります。上記以外の時間も含め、御用の方は、9時から17時まで受け付けていますので、下記にご連絡ください。

小松市史編纂担当(小松市立図書館2階)

- ・住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19 芦城公園内
- ・TEL 0761(24)5315 ・FAX 0761(22)9763
- ・E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・URL <https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/toshokan/shishihensan/index.html>